

「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」の発行について

令和3年4月19日
京都府丹後広域振興局
農林商工部森づくり振興課

平成30年3月に発行された「丹後縦貫林道」沿線の自然・歴史・文化を紹介するガイドブック「海の京都展望ライン 丹後縦貫林道ものがたり」の続編として、「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」が下記のとおり発行されました。

本冊子は、「京都府豊かな森を育てる府民税」を活用し、前編の編集委員の一部を中心として組織された編集委員会が編集・発行したもので、京都府立宮津天橋高等学校フィールド探究部が主に調査した丹後半島に生息する2,738本の巨樹を紹介しています。

この度、本冊子発行に向けて、巨樹調査等に協力いただいた京都府立宮津天橋高等学校への本冊子贈呈式を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

なお、本冊子は、府内各観光案内所、管内図書館及び教育関係機関等に配布するほか、部数100部限定で希望者に一般配布（無償）を行う予定です。

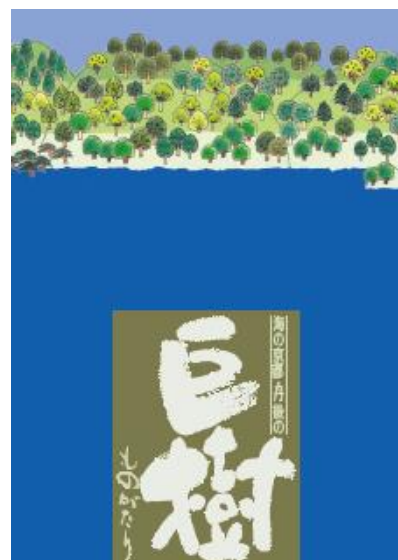
つきましては、贈呈式の取材等について、よろしくをお願いします。

記

- 1 「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」の発行について
 - (1) 編集・発行 「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」編集委員会
 - (2) 発行協力 京都府丹後広域振興局
 - (3) 発行部数 1,000部
 - (4) 内 容 目次・掲載内容例は別紙のとおり

- 2 贈呈式について
 - (1) 日時 令和3年4月30日（金）15時45分～16時30分
 - (2) 場所 京都府立宮津天橋高等学校 会議室
 - (3) 出席者 中本丹後広域振興局長他

- 3 一般配布（無償）について
 - (1) 方法 丹後広域振興局のホームページ（以下アドレス参照）から申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。
<http://www.pref.kyoto.jp/tango/forest/news/20210416.html>
 - (2) 申込先 メールの場合：tanshin-no-mori@pref.kyoto.lg.jp
FAXの場合：0772-62-4333
 - (3) 部数 100部
 - (4) 申込期限 令和3年5月10日（月）
 - (5) その他 申込者多数の場合、申込期限後に抽選を行わせていただきます。当選者の発表は、冊子の発送をもってかえさせていただきます。



「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」の表紙

担当：農林商工部 森づくり振興課
森づくり振興課長 岩本（0772-62-4317）
課長補佐兼係長 阿部（0772-62-4306）



● ● ● ● ご案内 ● ● ● ●

一部 丹後の巨樹台帳

扉詞 亀山 章さん（日本自然保護協会理事長）

表紙裏 巻頭詩 まど・みちおさん
巻頭文 大場 秀章さん

■ 巨樹との対話・・・京都府立宮津高等学校・宮津天橋高等学校 フィールド探究部

□ 橋北エリア □ 天橋立周辺エリア □ 杉山エリア □ 宮津市街・周辺エリア □ 栗田・由良エリア

□ 加悦町エリア □ 野田川町エリア □ 岩滝町エリア □ 伊根・大原エリア □ 本庄・筒川エリア

□ 大宮町エリア □ 峰山町エリア □ 弥栄町エリア □ 丹後町エリア □ 網野町エリア □ 久美浜町エリア

■ 巨樹探究から見えてきたこと・・・京都府立宮津高等学校・宮津天橋高等学校 多々納 智

一本数と樹種 二巨樹・一口メモ【スダジイ・スギ・タブ・イチヨウ】（まどめ・和田庄世）

三生育地と標高（垂直分布） 四「森へ行け」と野のタンポポ（まどめ・森本真依）

五「サンショウモ」を見よと森の木々たち（まどめ・松田健吾 坂根知樹） 六聴き耳頭巾の感度高く

☆新聞記事 『巨樹探し 高校生のびのび／丹後半島1800本発見』魅力を発信／観光に活用各地で』（読売新聞）

☆コラム 新たな巨樹の時代を生きる・・・京都府立宮津高等学校・宮津天橋高等学校 橋本 学

☆コラム 巨樹の眠る「里」・・・丹後低山会 坪倉良夫

二部 巨樹の表情

扉詩 まど・みちおさん

ブナ・トチ・サワグルミ・イタヤカエデ・カツラ・ホオ・ケヤキ・アハマキ・ムクロジ・モミ・
エノキ・シイ・イチヨウ・紅梅・タブ・ムクノキ・メタセコイア・カシ・スギ（写真・コメント 安田 潤）

☆コラム 樹との対話・東西サミットく俳句とヘルマン・ヘッセ『樹木』く 編集委員会

三部 里の「樹」^{ひと}

扉詞 編集委員会

■ 上世屋の記憶・小川元吉さん（村記）「上世屋の記録・高原の碧宵」より

■ 味土野の記憶・木下 肇さん（自伝）「味土野の思い出」より

■ 吉津の記憶・吉岡泰治さん（暮らし記）「ふるさと吉津」より

四部 巨樹を訪ねる

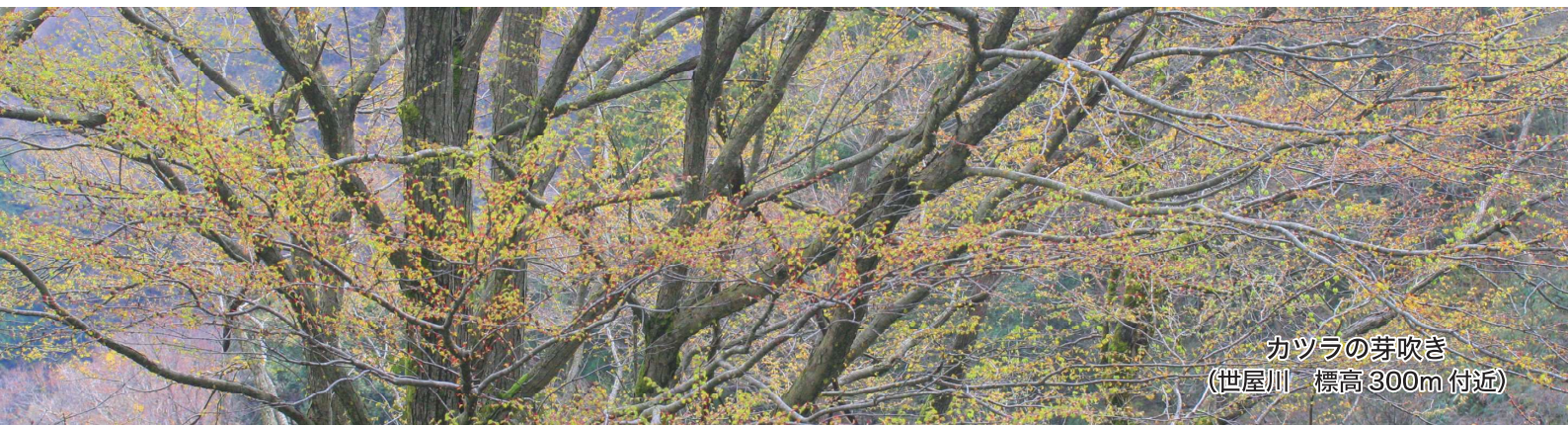
扉詞 海津ゆりえさん（文教大学国際学部教授）

■ 樹のエコミュージアム、縦横無尽に・・・丹後半島エコミュージアムサービス

■ 巡礼歌 詠い続ける巨樹たち

■ eバイクで丹後半島・グリーンロード（林道）・・・宮津世屋エコツーリズムガイドの会

後書き あらためて「田園まさに荒れなんとす ああなんぞかえりたれ」



カツラの芽吹き
（世屋川 標高300m付近）